

# 知っ得情報

みなさん、こんにちはお車の調子はいかがですか？

8月も中旬を過ぎ、暦の上では秋の始まりを告げていますが、まだまだ暑い日は続きそうです。猛暑日や熱帯夜になる日も多く、特に前日に比べて急に気温が上がる日などは熱中症に十分注意してくださいね。

## 急がば回れ!?

さて、この時期もうひとつ注意したいのが「ゲリラ豪雨」。短時間に大量の雨が降るため、ドライバーは視界の確保が困難になり、いつも以上に慎重な運転が求められます。こんな時はクルマの運転を控えるのが一番ですが、そうは言っていられない状況もありますよね。では、どんなところに注意して運転をすればよいのでしょうか。

### ◆アンダーパスでのトラブル回避

判断を誤って冠水した道路に進入してしまうと、エンジンの吸気口やマフラーから水が入ってしまい、エンジンが停止してしまう可能性があります。そうならないためにも、普段か



ら冠水しやすい道路と迂回路を把握しておきましょう。もし誤って進入してしまった場合、水位が低いようであれば(ドアの下端が目安)、

ゆっくりと一定の速度を保ち慎重に通過してください。勢いよく通過しようなんてことは絶対にやめてくださいね!

※一般的に約60cmの水位でエンジンが停止してしまうといわれています。

### ◆ブレーキが効かない!

冠水した道路や水たまりを通過した直後、ブレーキの制動力が一時的に低下してしまいます。自転車でも同じ現象が起きますので、みなさんも一度は経験したことがあるでしょう。ブレーキに付いている水分が原因ですから、ゆっくり走行しながらポンピングブレーキを数回行い、ブレーキを乾燥させます。制動力が戻ったことを実感するまでは、速度を上げないようにしましょう。

いかがでしたか?注意するポイントは他にもたくさんありますが、いずれにしても慌てず冷静に判断、対処することが大切です。もし判断に迷った時は、クルマを安全なところに停止させ、状況が落ち着くのを待ちましょう。合言葉は「急がば回れ」ですよ!

